

# お知らせ

INFORMATION

No.2020-11

2020年5月

病体生理研究所

## 検査内容変更及び新規受付・中止項目について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目において検査内容の変更及び検査の中止・新規受付の御案内をさせていただきます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 【変更項目】

- ◆TBG [10395] …検査案内 P.37 検査実施施設 S  
※詳しくは裏面をご参照下さい。

《変更日》：2020年5月29日（金）受付分より

### 【受付中止項目】

- ◆カンジダ抗原 [10546] …検査案内 P.69 検査実施施設 S  
試薬販売中止のため。

《最終受付日》：2020年5月28日（木）受付分まで

### 【新規受付項目】

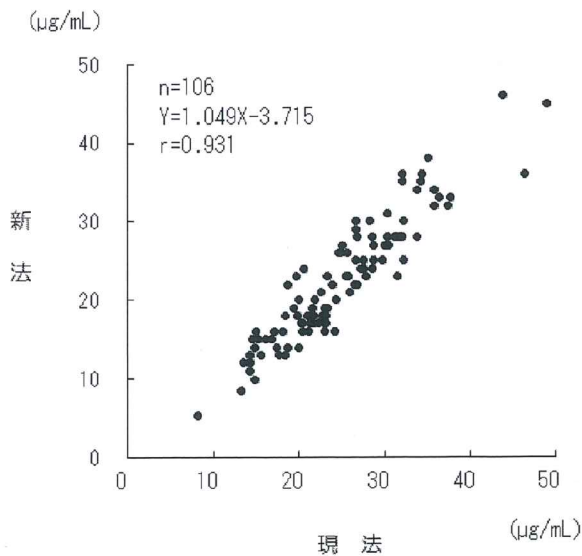
- ◆カンジダマンナン抗原 [16345] …検査実施施設 S  
※項目情報裏面参照

《受託開始日》2020年5月29日（金）受付分より

## 【変更内容】

検査項目 〔コード〕 案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
<b>TBG</b> (サイロキシン結合 グロブリン) [10395] P.37 S	検体 必要量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL	試薬の安定供給が困難なため、新試薬への変更のため。
	検査方法	CLEIA	RIAPEG	
	基準値 単位	14~31 μg/mL	15.9~35.6 μg/mL	

## 【(参考) 従来法との比較】



サイロキシン結合グロブリン (Tyroxine Binding Globulin: TBG) は、肝臓で成分分泌される最も重要な甲状腺輸送ホルモン蛋白質です。TBG は、血中では、サイロキシン (T<sub>4</sub>)、トリヨードサイロニン (T<sub>3</sub>) の約 70% と結合して存在し、血中半減期は約 5 日といわれています。TBG 定量の測定は甲状腺機能および甲状腺ホルモンの作用状態を知るために重要です。

従来、主に RIA 法にて測定されていた TBG 定量を、このたび Non-RIA (CLEIA) にて測定開始いたします。

参考文献：家入蒼生夫：日本臨床 63 (増)：272~276, 2005. (臨床的意義参考文献)

## 【新規項目情報】

項目名称	カンジダマンナン抗原
コード	16345
検体材料	血清 0.8 mL 注1)
保存・安定性	冷蔵
検査方法	ELISA
基準値 (単位)	(-) 0.05 未満 U/mL
所要日数	3~6日
実施料 (区分)	134点 (D012 19) 注2)
判断料	免疫学的検査 144点
備考	<p>注1) フィブリン除去時に竹串を使用すると、高値傾向を示す場合がありますので検体の取り扱いに十分ご注意ください。</p> <p>注2) <math>\beta</math>-D グルカン、D-アラビニトール、クリプトコックス・オフアルマンズ抗原、アスペルギルス抗原と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p>

深在性カンジダ症は易感染症患者に発症する日和見感染症の1つであり、深在性アスペルギルス症と並ぶ重要な真菌感染症です。深在性カンジダ症は早期診断、治療が重要であり、基礎疾患、臨床背景、臨床症状の観察、菌学的検査、病理組織学的検査、血清学的検査などを総合的に判断し実施されています。本法はラテックス凝集反応より感度に優れ、早期診断、治療のための補助診断として有用な検査です。

参考文献：新崎 晃弘 他:臨床検査機器・試薬 23-3-197~203 2000 (測定法文献)  
 吉田 耕一郎 他:感染症学雑誌 76-7-536~541 2002 (臨床的意義参考文献)

以上